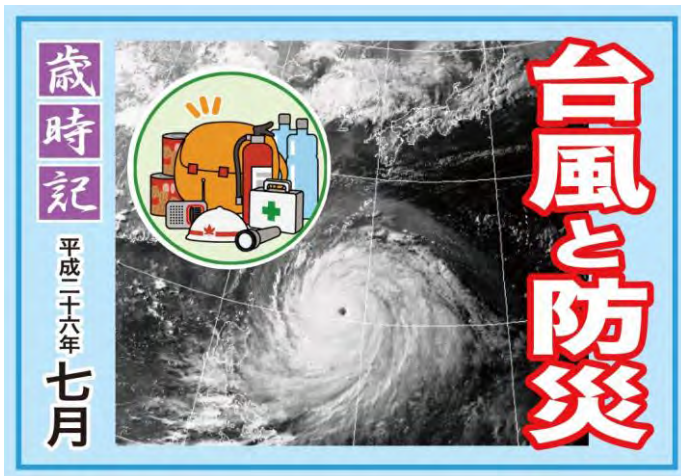


30秒でチョットした情報通になれる



■台風の語源「颶風」とは？

読めますか、この漢字を。「**颶風**」。

風という字に「具」がついています。「具」は料理で、汁、まぜ御飯などに入れたり付け添えたりする魚・貝・肉・野菜などの副材料のことをいいます。

横道にそれてしまいましたが、「**颶風**」は“**ぐふう**”と読みます。

気象庁ができる以前は台風を「**颶風(ぐふう)**」といていたのです。「**颶**」は“風”に“風”が“具”として付け加わって“風”が2乗、3乗になって強風になったことを表しています。それが台風のこと、もともとの表記は「**颶風**」だったのです。

■「颶風」から「颱風」。そして台風

だから、気象の定義では台風は風の強さが基準になっています。時速17km以上が台風です。それ以下の風速では台風ではありません。ところが明治になると当時の気象台長(現在の気象庁の前身名)が「**颶風**」から「**颱風**(たいふう)」という字に換えてしまいました。その理由は「**颱**」という語は、中国福建省で「台湾付近の風」という意味で使われていました。

昔、沖縄と中国間で貿易が盛んな頃に台風による遭難が多かったようです。その記録に遭難の原因として「**颱風**」という字が使われていました。それで気象台長は「**颶風**」から「**颱風**」に換えてしまいました。

その後、当用漢字が定められてから「**颱**」が使用できなくなって「**台風**」となりました。これが台風という字の変遷です。

それ以外にも英語の「Typhoon (タイフーン)」に漢字を当てたという説があります。

台風とは要は風が風を呼んで大風になった。それが台風の謂れといえます。

株式会社24時間通信

〒003-0826 札幌市白石区菊水元町6条3丁目6-46
TEL 011-871-2455 FAX 011-871-2444

14年
7月号

30秒でチョットした情報通になれる



■平均寿命とは？

寿命には3種類あるのを知っていますか？ ①平均寿命、②平均余命、③健康寿命です。

平均寿命とは0歳における平均余命のことです。

平成24年の簡易生命表によると、日本人の平均寿命は男性が79.94歳、女性が86.41歳です。平均寿命とは0歳の子があと何年生きられるかということなのです。

■平均余命とは？

平均余命はある年齢の人があと何年生きられるか？ それが平均余命となります。60歳の男性は22.93歳になります。

60歳の男性は82.93歳まで生きられるということになります。

■健康寿命とは？

平均寿命、平均余命にしてもある年齢の人が何年生きられるかということです。健康で生きられるかとは違います。

健康寿命とは何でしょうか？ それは日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる期間のことをいいます。平均寿命と健康寿命との期間が短ければ人の助けを必要なしで生きられていることとなります。簡単にいえば、ピンピンして、あるとき急死すれば平均寿命と健康寿命との期間が短く、介護の手を借りる期間が短いということです。

医療費、介護給付費が少なく済みます。厚生労働省の平成22年の資料によると男性の平均寿命と健康寿命の差は9.13年。女性は12.68年です。この期間を短くするのが健康な老後です。そのために生活で気をつけることは、例えば食事は、玄米、パンなどでんぷん質を主食とし、いろいろな野菜、豆類、豆腐、果物を食べます。毎日1時間は歩き、汗をかきます。野菜や果物をたくさん食べます。これが健康寿命を保つ方法です。

引用・参考資料：厚生労働省平均寿命と健康寿命より

30秒でチョットした情報通になれる



■水の事故を防ぐ注意すること

楽しい夏がやって来ます。海や川で水遊びをする季節です。海や川や池で遊んだり、釣りや魚とりをしたり、泳いで遊びたくなります。でも陸上と違い、海や川ではちょっとした不注意で生命を失ったり、大きなケガをしてしまいます。水の事故を防ぐには、親は以下のことに目配りしましょう。

- ・熱があるのに泳ごうとしていないか？
- ・プールサイドを走っていないか？
- ・水中に台を置いて、その下をもぐって遊んでいないか？
- ・水中めがねやスノーケルをつけて遊んでいないか？
- ・飛び込んで遊んでいないか？

- ・背のたたないところで浮具につかまって泳いでいないか？
 - ・悪ふざけをしていないか？
 - ・おおきな岩のそばで遊んでないか？
 - ・親から遠くはなれた所へ行ってないか？
 - ・河口のそばで遊んでいないか？
 - ・背のたたないところで遊んでいないか？
 - ・沖にむかって泳いでいないか？
 - ・子どもだけでボートに乗っていないか？
- 今まで元気に泳いでいて、以下の症状がでたらすぐに水からあがり休みましょう
- ・顔色がわるくなる
 - ・元気がなくなる
 - ・くちびるが紫色になる
 - ・鳥肌がたつ
 - ・寒気がする
 - ・ふるえがとまらない
 - ・からだの一部に痛みを感じる
 - ・激しく息切れがする
 - ・めまいがしたり、眠気を感じる
 - ・熱っぽくなる
 - ・頭が重い感じがする
 - ・じんましんがでたり、むくんだりする

株式会社24時間通信

〒003-0826 札幌市白石区菊水元町6条3丁目6-46
TEL 011-871-2455 FAX 011-871-2444

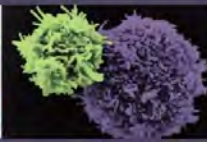
14年
7月号

30秒でチョットした情報通になれる



7月のトピックス

私のがん闘病日記



今号は私のがん闘病日記を書きます。

実は、筆者は2014年2月に前々から胆のうの結石がありました。この際、結石をとるといより胆のうを切除することにしました。手術は腹腔鏡手術で入院期間は1週間程度でした。

ところが、この胆のうにがん細胞が発見されました。初めての体験であり、医者からそれを知らされてからがん細胞が他の器官に転移していないかを調べる検査はつらかったです。不安にさいなまれ眠れない夜が続きました。

幸いがん細胞は転移がしていませんでした。だけど、再発率は50%でステージⅡということをして宣告されています。

今回、私的なことであるがん闘病日記を書こうと思ったのは、現在、日本人の2人に1人はがんで亡くなります。だれもが体験することかもしれないことです。

また、入院した病院では、いろいろな体験をしましたが、一番、驚いたのは日本の健康保険制度について多くの同床の患者が知らないことでした。

仕事柄、同じ患者に健康保険の補償内容について聞いても、ほとんどの患者が知りませんでした。例えば、限度額適用認定証、高額療養費、高額療養費貸付制度、傷病手当金などなど。

これらのことをお客様に知らせることは意味あることだと思いました。それで今号は私のがん闘病日記を記すとともに改めて健康保険の補償内容について解説することにしました。いつものQ & Aにかわり今号は私のがん闘病日記と健康保険の補償内容を記した理由です。